

2009年度 第2四半期決算の概況



－決算の概要－

【損益】	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	通期予想	前期比
売上高	783,447	668,012	△14.7	1,380,000	△8.9
売上総利益	161,470	104,092	△35.5	221,500	△23.9
販管費	110,526	101,096	△8.5	200,000	△8.0
営業利益	50,943	2,995	△94.1	21,500	△70.9
経常利益	51,922	2,653	△94.9	21,000	△72.8
特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	4,333	5,798	33.8	7,300	△85.2
当期純利益	28,006	△2,373	—	6,000	△47.9

- 売上高** 前期比14.7%減の減収 6,680億1千2百万円
 昨年来から続く消費マインドの低下による住宅市場の低迷は、その回復が大幅にずれ込み、受注高に大きく影響を与えたこと、開発事業売上が端境期であること等の結果減収
- 売上総利益** 売上高減少、開発事業売上高の端境期の影響により前期比35.5%の減収1,040億9千2百万円
- 販管費** コスト削減を推進し前期比94億削減(8.5%減) 1,010億9千6百万円
 広告宣伝費・販売促進費等販売にかかる費用46億円減 その他費用48億円
- 営業利益** 29億9千5百万円
- 経常利益** 借入金の増加により減少 26億5千3百万円
- 特別損失** 構造改善費用 41億5千5百万円の特別損失計上
- 当期純損失** 23億7千3百万円

－セグメントの状況－

【売上高】	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	通期予想	前期比
工業化住宅請負	320,549	281,344	△12.2	610,000	△10.7
不動産販売	203,379	134,993	△33.6	265,000	△16.5
不動産賃貸	177,243	182,040	2.7	366,000	2.5
その他事業	82,274	69,633	△15.4	139,000	△11.4
連 結	783,447	668,012	△14.7	1,380,000	△8.9

売上高の状況

前年同期比 14.7%減の 6,680億1千2百万円

- 工業化住宅請負** 前年同期比12.2%減 戸建住宅13.1%減、シャーマン10.3%減
- 不動産販売** 前年同期比33.6%減 開発売上の端境期・マンション販売の低迷
- 不動産賃貸** 前年同期比 2.7%増 積和不動産グループの売上増
- その他事業** 前年同期比15.4%減 RC・エクステリアが減少

【受注高】	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	通期予想	前期比
工業化住宅請負	383,123	306,731	△19.9	641,000	△4.3
不動産販売	221,700	133,002	△40.0	271,000	△9.6
不動産賃貸	177,243	182,040	2.7	366,000	2.5
その他事業	80,661	74,977	△7.0	149,000	1.8
連 結	862,728	696,751	△19.2	1,427,000	△3.1

受注高の状況

前年同期比 19.2%減の 6,967億5千1百万円

戸建住宅では、拡充された住宅ローン減税等の減税効果を追い風とし、積極的な環境配慮型住宅「グリーンファースト」の拡販により、受注・受注残ともに回復基調

【受注残高】	前期末	当第2四半期	前期末比	通期予想	前期比
工業化住宅請負	339,702	365,089	7.5	370,702	9.1
不動産販売	71,101	69,109	△2.8	77,101	8.4
不動産賃貸	—	—	—	—	—
その他事業	92,427	97,771	5.8	102,427	10.8
連 結	503,230	531,970	5.7	550,230	9.3

－貸借対照表の概要－

◇資産の部 前期比338億9千3百万円減少 1兆3,533億4千4百万円

	前期末	当第2四半期末	増減額
現金預金	124,517	103,069	△21,448
分譲・未成分譲土地	583,703	572,402	△11,300

- ・オーストラリアにおける土地取得等により、分譲土地・未成分譲土地の増加 約170億円
- ・販売用不動産の販売促進により、分譲用土地が減少

◇負債の部 前期比305億6千9百万円減少 6,025億3千8百万円

	前期末	当第2四半期末	増減額
有利子負債	249,981	260,125	10,144

- ・海外事業における資金需要の為の長期借入金の増加

◇純資産の部 前期比33億2千4百万円減少 7,508億6百万円

- ・利益剰余金 配当金の支払い・当期純損失により 104億9千3百万円減少

本資料は、当社が信頼できると考える情報に基づいて作成されておりますが、その正確性および完全性については保証できません。また本資料に記載されている将来予測等に関する情報は、発表日現在の当社の判断であります。実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があることをご了解下さい。